

慶應義塾大学通信教育課程での学修

大学における学修は、高校までとは異なり、学習計画を含め様々なことを学生自身で決め、学習活動を進めていきます。特に通信教育課程では、自らの生活スタイル等を勘案しながら学習計画を立てることが非常に重要であり、学習の第一歩ともいえます。

現在、本学通信教育課程の授業は、「通信授業（テキスト）」「面接授業（スクーリング）」「メディア授業（E-スクーリング）」の3つの方法によって行っています。所属する学部が定める卒業要件（必要な科目、単位数など）に沿って、それぞれの授業方法で修得した単位を積み上げていきます。

なかでも、通信教育課程の基本の授業方法となるのが、「通信授業（テキスト）」です。指定されたテキストを学習し、参考文献を読み、それぞれの科目に設定されたレポート課題について「自ら考え」、「自分の力でレポートを作成・提出」し、合格を目指します。自宅での独学が中心になる通信教育では、「考える」ということが、重要な学習のポイントになります。そのうえで、各科目の「科目試験」に合格することで単位修得となります。

一方、通信による自宅学習では困難な実験や実技、演習を伴う科目、その他面接授業が必要とされる科目の講義を、一定期間キャンパスに通学して教室等で直接授業を受けるのが「面接授業（スクーリング）」です。本学通信教育課程では、通学課程で教鞭を執る教員の授業も履修することができ、貴重な機会となっています。このため、「面接授業（スクーリング）」を通じた対面での学びもまた重要なものと位置付けています。卒業所要単位として卒業までに修得しなければならない「面接授業（スクーリング）」の単位数があらかじめ定められており、そのうち10単位を上限に、インターネットを活用する「メディア授業（E-スクーリング）」で修得した単位を算入することができます。

また現在、通信教育部では、社会環境の変化を受け、学びの手段のオンライン化を進めており、2024年度からは一部の科目について「リアルタイムオンライン」での授業を試行的に開講しています。様々な事情により「面接授業（スクーリング）」の受講が難しい場合は、オンラインによるこれらの授業を部分的に活用しながら、「スクーリング所要単位」を充足するように学習計画を立てることとなります。

また、科目試験は全国約10都市で対面にて実施しており、卒業論文指導や卒業試験なども対面での実施が求められる場合があります。このように、本学通信教育課程においては、対面での学びを特徴とするとともに重要なものとして位置付けており、制度的にはすべての卒業所要単位をオンラインによる授業のみで充足することはできません。この点をあらかじめご理解のうえ、出願をご検討ください。